

2000年 大会記録

国際

◇ショープ女子国際大会（1月22～23日、フランス・トゥルクァン）

《シニア》▼46kg級 船津愛里（埼玉・淑徳与野高）＝2位、柳井祐美子（福岡・門司北高）＝予選リーグ敗退、▼51kg級 服部担子（愛知・中京女大附高）＝3位、安部恵美（東京・安部学院高）＝予選リーグ敗退、▼56kg級 吉田沙保里（三重・久居高）＝優勝、立本小百合（宮崎・福島高）＝予選リーグ敗退、井上夕起子（東京・安部学院高）3位、▼62kg級 山田真央美（京都・京都両洋高）＝予選リーグ敗退、菅綾子（埼玉・埼玉栄高）＝3位、▼68kg級 外山美奈子（東京・安部学院高）＝9位、花里香（東京・渋谷教育学園渋谷高）＝5位

《ミニム》▼44kg級 島村真美（神奈川・東海ジュニア）＝2位、山名慧（福井・若狭キッズ）＝優勝、▼48kg級 片渕有紀（大阪・吹田市民教室）＝5位、鈴木七恵（栃木・みぶチビッコ）＝優勝、▼52kg級 佐久間静（福島・郡山スポーツ少年団）、大田栄里（三重・鳥羽ジュニア）＝2位、渡辺あゆみ（静岡・沼津クラブ）＝6位、▼62kg級 宇野祥弥（三重・四日市ジュニア）＝7位、杉本亜弓（愛知・一宮クラブ）＝3位、田中希枝（三重・鳥羽ジュニア）＝6位

◇シドニー五輪予選第2ステージ第1戦＝男子グレコローマン（1月22～23日、イタリア・ファエンツァ）

▼54kg級 佐々木昌常（自衛隊）＝12位、▼58kg級 西見健吉（自衛隊）＝13位、▼63kg級 平井満生（日体大）＝6位、▼69kg級 永田克彦（警視庁）＝16位、▼76kg級 片山貴光（自衛隊）＝4位、▼85kg級 横山秀和（秋田・秋田経法大付高教）＝20位、▼97kg級 篠崎正二（自衛隊）＝18位、▼130kg級 浜上稔（宮崎・宮崎農高教）＝18位

◇シドニー五輪予選第2ステージ第1戦＝男子フリースタイル（1月29～30日、ベラルーシ・ミンスク）

▼54kg級 田南部力（警視庁）＝8位、▼58kg級 関川博紀（新潟県体協）＝16位、▼63kg級 宮田和幸（クリナップ）＝10位、▼69kg級 和田貴広（和歌山県教育庁）＝10位、▼76kg級 小幡邦彦（山梨学院大）＝18位、▼97kg級 小菅裕司（自衛隊）＝13位、▼130kg級 小幡弘之（警視庁）＝16位

◇シドニー五輪予選第2ステージ第2戦＝男子グレコローマン（2月5～6日、フラン

ス・クレルモンフェラン)

▼54kg 級 豊田雅俊 (警視庁) = 11 位、▼58kg 級 笹本睦 (日体大) = 6 位、▼63kg 級 平井満生 (日体大) = 16 位、▼69kg 級 永田克彦 (警視庁) = 5 位、▼76kg 級 片山貴光 (自衛隊) = 3 位、▼85kg 級 松本慎吾 (日体大) = 7 位、▼97kg 級 篠崎正二 (自衛隊) = 20 位

◇シドニー五輪予選第 2 ステージ第 2 戦=男子フリースタイル (2 月 12~13 日、ドイツ・ライプチヒ)

▼54kg 級 田南部力 (警視庁) = 4 位、▼58kg 級 関川博紀 (新潟県体協) = 12 位、▼63kg 級 伊東克佳 (河北建設) = 19 位、▼69kg 級 和田貴広 (和歌山県教育庁) = 16 位、▼76kg 級 小柴健二 (自衛隊) = 13 位、▼97kg 級 中尾芳広 (自衛隊) = 16 位、▼130kg 級 小幡弘之 (警視庁) = 15 位

◇シドニー五輪予選第 2 ステージ第 3 戦=男子グレコローマン (2 月 12~13 日、ウズベキスタン・タシュケント)

▼54kg 級 佐々木昌常 (自衛隊) = 16 位、▼58kg 級 笹本睦 (日体大) = 3 位、▼63kg 級 元木康年 (自衛隊) = 3 位、▼69kg 級 永田克彦 (警視庁) = 6 位、▼76kg 級 片山貴光 (自衛隊) = 7 位、▼85kg 級 松本慎吾 (日体大) = 8 位、▼97kg 級 山口孝二 (自衛隊) = 18 位

◇シドニー五輪予選第 2 ステージ第 3 戦=男子フリースタイル (2 月 26~27 日、東京・青少年総合センター)

▼54kg 級 田南部力 (警視庁) = 優勝、▼58kg 級 関川博紀 (新潟県体協) = 9 位、▼63kg 級 宮田和幸 (クリナップ) = 2 位、▼69kg 級 和田貴広 (和歌山県教育庁) = 5 位、▼76kg 級 小幡邦彦 (山梨学院大) = 3 位、▼97kg 級 小菅裕司 (自衛隊) = 17 位、▼130kg 級 小幡弘之 (警視庁) = 12 位

◇シドニー五輪予選第 2 ステージ第 4 戦=男子グレコローマン (3 月 4~5 日、米国・コロラドスプリングズ)

▼54kg 級 豊田雅俊 (警視庁) = 11 位、▼58kg 級 笹本睦 (日体大) = 6 位、▼63kg 級 平井満生 (日体大) = 16 位、▼69kg 級 永田克彦 (警視庁) = 5 位、▼76kg 級 片山貴光 (自衛隊) = 3 位、▼85kg 級 松本慎吾 (日体大) = 7 位、▼97kg 級 篠崎正二 (自衛隊) = 20 位

◇シドニー五輪予選第 2 ステージ第 4 戦=男子フリースタイル (3 月 11~12 日、メキシコ・クエレンタロ)

▼76kg 級 小幡邦彦（山梨学院大） = 5 位

◇シドニー五輪最終予選アジア地区トーナメント＝男子フリースタイル（4月24日、中

国・桂林）

▼58kg 級 関川博紀（新潟県体協） = 2 位、▼63kg 級 宮田和幸（クリナップ） = 優勝、
▼69kg 級 和田貴広（和歌山県教育庁） = 優勝、▼76kg 級 小幡邦彦（山梨学院大） = 3
位、▼97kg 級 小菅裕司（日体大） = 二失、▼130kg 級 小幡弘之（警視庁） = 2 位

◇アジア選手権＝男子フリースタイル（4月25～26日、中国・桂林）

▼54kg 級 田南部力（警視庁） = 棄権、▼58kg 級 関川博紀（新潟県体協） = 6 位、▼63kg
級 宮田和幸（クリナップ） = 4 位、▼69kg 級 和田貴広（和歌山県教育庁） = 5 位、▼76kg
級 小幡邦彦（山梨学院大） = 6 位、▼85kg 級 横山武典（国士舘大助） = 3 位、▼97kg
級 小菅裕司（日体大） = 10 位、▼130kg 級 小幡弘之（警視庁） = 4 位

◇シドニー五輪最終予選アジア地区トーナメント＝男子グレコローマン（5月5日、韓

国・ソウル）

▼54kg 級 佐々木昌常（自衛隊） = 3 位、▼85kg 級 松本慎吾（日体大） = 3 位、▼97kg
級 篠崎正二（自衛隊） = 二失、▼130kg 級 浜上稔（宮崎・宮崎農高教） = アジア選手権
をもって五輪予選

◇アジア選手権＝男子グレコローマン、女子（5月5～7日、韓国・ソウル）

《男子グレコローマン》▼54kg 級 佐々木昌常（自衛隊） = 8 位、▼58kg 級 富谷光雄
（自衛隊） = 8 位、▼63kg 級 伊是名正旭（日体大） = 7 位、▼69kg 級 永田克彦（警視
庁） = 優勝、▼76kg 級 片山貴光（自衛隊） = 2 位、▼85kg 級 松本慎吾（日体大） = 4
位、▼97kg 級 篠崎正二（自衛隊） = 6 位、▼130kg 級 浜上稔（宮崎・宮崎農高教） =
5 位

《女子》▼46kg 級 吉村祥子（東京ビューティーセンター） = 優勝、▼51kg 級 坂本日
登美（中京女大） = 優勝、▼56kg 級 清水真理子（群馬県協会） = 優勝、▼62kg 級 正田
絢子（東洋大） = 優勝、▼68kg 級 宮本知恵（中京女大） = 優勝、▼75kg 級 富岡多恵子
（国士舘大） = 2 位

◇アジア・カデット選手権（6月28～30日、イラン・ハメダン）

《男子フリースタイル》▼42kg 級 = 出場なし、▼46kg 級 山口武尊（三重・四日市四郷
高） = 4 位、▼50kg 級 清水目護（青森・野辺地西高） = 5 位、▼54kg 級 清水目勝（青
森・野辺地西高） = 4 位、▼58kg 級 田中雄次（埼玉・埼玉栄高） = 7 位、▼63kg 級 鈴

木崇之（京都・立命館宇治高）＝4位、▼69kg級 松井翔（京都・立命館宇治高）＝6位、▼76kg級 松本真也（京都・網野高）＝優勝、▼85kg級 松本拓揮（熊本・玉名工高）＝6位、▼100kg級 田中章仁（福岡・三井高）＝2位

《男子グレコローマン》▼42kg級 鈴木裕貴（千葉・野田一中）＝6位、▼46kg級 西森啓太（奈良・広陵高）＝6位、▼50kg級 大畠亮平（京都・網野高）＝5位、▼54kg級 西尾直之（大阪・大阪市立高）＝6位、▼58kg級 福間道元（岡山・倉敷高）＝5位、▼63kg級 南茂耕太（富山・滑川高）＝6位、▼69kg級 田中浩明（奈良・添上高）＝6位、▼76kg級 神野圭一（京都・立命館宇治高）＝4位、▼85kg級 森田健司（静岡・稲取高）＝7位、▼100kg級 子本真照（熊本・玉名工高）＝5位

◇世界ジュニア選手権（7月3～9日、フランス・ナント）

《男子フリースタイル》▼50kg級 戸部紘二（東農大）＝8位、▼54kg級 松永共広（日体大）＝8位、▼58kg級 田岡秀規（山梨学院大）＝17位、▼63kg級 井上真一（山梨学院大）＝8位、▼69kg級 堀井力（日体大）＝26位、▼76kg級 長島和幸（早大）＝12位、▼85kg級 裾分隆仁（南九州大）＝18位、▼97kg級 吉田栄利（国士舘大）＝20位、▼130kg級 福田大樹（山梨学院大）＝8位

《男子グレコローマン》▼50kg級 原迫孝行（徳山大）＝13位、▼54kg級 近藤貴士（青山学院大）＝22位、▼58kg級 工藤健太（青山学院大）＝19位、▼63kg級 村崎学志（拓大）＝16位、▼69kg級 佐野裕樹（日体大）＝26位、▼76kg級 渡辺直人（東農大）＝18位、▼85kg級 栗原勝（拓大）＝25位、▼97kg級 津田弘二（青山学院大）＝19位、▼130kg級 加藤賢三（大東大）＝8位

《女子》▼43kg級 世良桃子（福岡・小倉南高）＝3位、▼46kg級 幹佳奈子（福岡大）＝優勝、▼50kg級 伊調千春（京都・網野高）＝優勝、▼54kg級 山本聖子（日大）＝優勝、▼58kg級 吉田沙保里（三重・久居高）＝優勝、▼63kg級 正田絢子（東洋大）＝優勝、▼68kg級 坂本襟（中京女大）＝10位、▼75kg級＝出場なし

◇ヤリギン国際大会＝男子フリースタイル（7月21～23日、ロシア・クラスノヤルスク）

▼54kg級 田南部力（警視庁）＝2位、▼63kg級 宮田和幸（クリナップ）＝決勝トーナメント一回戦失、山本英典（自衛隊）＝予選リーグ敗退、▼69kg級 和田貴広（和歌山県教委）＝棄権、▼76kg級 小幡邦彦（山梨学院大）＝予選リーグ敗退、▼85kg級 川合達夫（群馬・板倉高教）＝予選リーグ敗退、

◇アジア・ジュニア選手権（8月9～13日、インド・ニューデリー）

《男子フリースタイル》▼50kg級 戸部紘二（東農大）＝5位、▼54kg級 松永共広（日体大）＝8位、▼58kg級 浅野倫久（山梨学院大）＝6位、▼63kg級 井上真一（山梨学院大）＝3位、▼69kg級 長島正彦（青山学院大）＝6位、▼76kg級 長島和幸（早大）＝2位、▼85kg級 裾分隆仁（南九州大）＝5位、▼97kg級 吉田栄利（国士大）＝4位、▼130kg級 坂本亮介（東洋大）＝3位

《男子グレコローマン》▼50kg級 原迫孝行（徳山大）＝4位、▼54kg級 近藤貴士（青山学院大）＝5位、▼58kg級 工藤健太（青山学院大）＝4位、▼63kg級 渡辺康夫（明大）＝2位、▼69kg級 佐野裕樹（日体大）＝5位、▼76kg級 渡辺直人（東農大）＝4位、▼85kg級 栗原勝（拓大）＝6位、▼97kg級 津田弘二（青学大）＝6位、▼130kg級 加藤賢三（大東大）＝4位

《女子》▼43kg級＝出場なし、▼46kg級 砂川ふじ美（中京女大）＝2位、▼50kg級 服部担子（愛知・中京女大附高）＝優勝、▼54kg級 山本有里（京都・網野高）＝優勝、▼63kg級 田上裕子（中京女大）＝優勝、▼68kg級 外山美奈子（東京・安部学院高）、▼75kg級＝出場なし

◇世界選手権＝女子（9月1～3日、ブルガリア・ソフィア）

▼46kg級 清水美里（ジャパンビバレッジ）＝8位、▼51kg級 坂本日登美（中京女大）＝優勝、▼56kg級 山本聖子（）＝優勝、▼62kg級 岩間怜那（中京女大）＝2位、▼68kg級 宮本知恵（中京女大）＝3位、▼75kg級 浜口京子（浜口ジム）＝3位

◇シドニー五輪（9月24日～10月1日、豪州・シドニー）

《フリースタイル》▼55kg級：田南部力（警視庁）＝10位、▼63kg級：宮田和幸（クリナップ）＝13位、▼69kg級：和田貴広（和歌山県教育庁）＝12位、▼85kg級：川合達夫（群馬・板倉高教）＝17位

《グレコローマン》▼58kg級：笹本睦（総合警備保障）＝8位、▼63kg級：元木康年（自衛隊）＝9位、▼69kg級：永田克彦（警視庁）＝2位、▼76kg級：片山貴光（自衛隊）＝17位

◇世界学生選手権（11月3～8日、東京・青少年総合センター）

《男子フリースタイル》▼54kg級 鈴木元泰（日体大）＝7位、▼58kg級 平井進悟（拓大）＝5位、▼63kg級 栗尾直樹（宮城県協会＝日体大OB）＝2位、▼69kg級 工藤祐士（日体大）＝4位、▼76kg級 佐伯智彦（日体大）＝10位、▼85kg級 浜中和宏（日体

大) = 6位、▼97kg級 福田大樹(山梨学院大) = 5位、▼130kg級 伏平学(拓大) = 6位

《男子グレコローマン》▼54kg級 村田知也(日野クラブ=日体大OB) = 4位、▼58kg級 笹本睦(総合警備保障=日体大OB) = 優勝、▼63kg級 平井満生(総合警備保障=日体大OB)、▼69kg級 飯室雅規(自衛隊=拓大OB)、▼76kg級 加納篤(加納建設=日体大OB) = 4位、▼85kg級 松本慎吾(一宮運輸=日体大OB) = 4位、▼97kg級 森角裕介(日体大) = 7位、▼130kg級 鈴木克彰(警視庁=拓大OB)

◇サンキスト・オープン(11月3～5日、米国。フェニックス)

《男子フリースタイル》▼54kg級 戸井田昌教(宮越工芸) = 11位、▼58kg級 関川博紀(新潟・三条工高教) = 4位、久米貴幸(自衛隊) = 3位、▼76kg級 小柴健二(自衛隊) = 6位、▼85kg級 横山秀和(秋田市役所) = 2位、花田真秀(和歌山ク) = 12位、▼130kg級 諏訪間幸平(クリナップ) = 7位

《女子》▼46kg級 清水美里(ジャパンビバレッジ) = 優勝

◇ハパランダ国際大会=男子グレコローマン(12月2～3日、スウェーデン・ハパランダ)

▼54kg級 安原隆(自衛隊) = 棄権、▼58kg級 吉田誠治(特別警備保障) = 予選リーグ敗退、▼63kg級 平井満生(総合警備保障) = 予選リーグ敗退、石田亮一(クリナップ) = 予選リーグ敗退、▼69kg級 久保雅紀(宮越工芸) = 予選リーグ敗退、斎藤柔(自衛隊) = 準々決勝敗退、▼85kg級 谷口周平(自衛隊) = 予選リーグ敗退、▼130kg級 鈴木克彰(警視庁) = 3位

国内

◇全国高校選抜大会(3月27～29日、新潟・新潟市体育館)

《学校対抗戦》[1] 茨城・霞ヶ浦(6年連続11度目)、[2] 鹿児島・鹿屋中央、[3] 京都・南京都、岐阜・岐南工

《個人戦優勝者》▼50kg級 和田宗法(千葉・関宿)、▼54kg級 斎藤将士(秋田・秋田経法大付)、▼58kg級 橋井巧佑(京都・立命館宇治)、▼63kg級 鈴木崇之(京都・立命館宇治)、▼69kg級 中筋祐太(大阪・吹田)、▼76kg級 中村友之(栃木・足利工大付)、▼85kg級 藤岡裕士(茨城・霞ヶ浦)、▼130kg級 中都雅志(香川・多度津工)

◇世界学生選手権代表選考会（4月8～9日、国士舘大、日体大）

《男子フリースタイル優勝者》▼54kg級 鈴木元泰（日体大）、▼58kg級 平井進悟（拓大）、▼63kg級 栗尾直樹（宮城県協会＝日体大OB）、▼69kg級 工藤祐士（岡山県協会＝日体大OB）、▼76kg級 佐伯智彦（日体大）、▼85kg級 浜中和宏（日体大）、▼97kg級 福田大樹（山梨学院大）、▼130kg級 伏平学（拓大）

《男子グレコローマン優勝者》▼54kg級 村田知也（日野クラブ＝日体大）、▼58kg級 工藤健太（青山学院大）、▼63kg級 山道広樹（日体大）、▼69kg級 飯室雅規（自衛隊＝拓大OB）、▼76kg級 加納篤（加納建設＝日体大）、▼85kg級 浦田正幸（山梨学院大）、▼97kg級 森角裕介（日体大）、▼130kg級 沢田直樹（拓大）

◇ジャパントイーンズカップ（4月9日、静岡・東伊豆勤労者体育センター）

《優勝者》▼46kg級 吉村祥子（TBC東京）、▼51kg級 坂本日登美（中京女大）、▼56kg級 清水真理子（群馬県協会）、▼62kg級 正田絢子（京都・網野高）、▼68kg級 宮本知恵（中京女大）、▼75kg級 浜口京子（浜口ジム）

◇JOC杯ジュニアオリンピック（4月22～23日・横浜文化体育館）

《男子ジュニア・フリースタイル優勝者》▼50kg級 戸部紘二（東農大）、▼54kg級 松永共広（日体大）、▼58kg級 田岡秀規（山梨学院大）、▼63kg級 井上真一（山梨学院大）、▼69kg級 堀井力（日体大）、▼76kg級 長島和幸（早大）、▼85kg級 仙波勝敏（立命館大）、▼97kg級 吉田栄利（国士舘大）、▼130kg級 福田大樹（山梨学院大）

《男子ジュニア・グレコローマン優勝者》▼50kg級 原迫孝行（徳山大）、▼54kg級 近藤貴士（青山学院大）、▼58kg級 工藤健太（青山学院大）、▼63kg級 村崎学志（拓大）、▼69kg級 佐野裕樹（日体大）、▼76kg級 渡辺直人（東農大）、▼85kg級 栗原勝（拓大）、▼97kg級 津田弘二（青山学院大）、▼130kg級 加藤賢三（大東大）

《男子カデット・フリースタイル優勝者》▼46kg級 山口武尊（三重・四日市四郷高）、▼50kg級 清水目護（青森・野辺地西高）、▼54kg級 清水目勝（青森・野辺地西高）、▼58kg級 田中雄次（埼玉・埼玉栄高）、▼63kg級 鈴木崇之（京都・立命館宇治高）、▼69kg級 松井翔（京都・立命館宇治高）、▼76kg級 松本真也（京都・網野高）、▼85kg級 松本拓揮（熊本・玉名工高）、▼100kg級 田中章仁（福岡・三井高）

《男子カデット・グレコローマン優勝者》▼42kg級 鈴木裕貴（千葉・野田一中）、▼46kg級 西森啓太（奈良・広陵高）、▼50kg級 大畠亮平（京都・網野高）、▼54kg級 西尾直之（大阪・大阪市立高）、▼58kg級 福間道元（岡山・倉敷高）、▼63kg級 南茂耕太（富山・滑川高）、▼69kg級 田中浩明（奈良・添上高）、▼76kg級 神野圭一（京都・

立命館宇治高)、▼85kg級 森田健司(静岡・稲取高)、▼100kg級 吉田光志(長崎・島原高)

《女子ジュニア優勝者》▼43kg級 世良桃子(福岡・小倉南高)、▼46kg級 幹佳奈子(福岡大)、▼50kg級 伊調千春(京都・網野高)、▼54kg級 山本聖子(日大)、▼58kg級 吉田沙保里(三重・久居高)、▼63kg級 正田絢子(東洋大)、▼68kg級 坂本襟(中京女大)、▼75kg級=出場なし

《女子カデット優勝者》▼38kg級 国枝美香(大阪・吹田市民教室)、▼40kg級 馬越真弓(大阪・吹田市民教室)、▼43kg級 竹中奈々(京都・網野高)、▼46kg級 平岡深雪(埼玉・埼玉栄高)、▼49kg級 池田弘美(京都・網野高)、▼52kg級 西牧未央(大阪・関大一中)、▼56kg級 伊調馨(愛知・中京女大附高)、▼60kg級 田中希枝(鳥羽ジュニア)、▼65kg級 宇野祥弥(四日市ジュニア)、▼70kg級 寺元梓美(愛知・中京女大附高)

◇東日本学生リーグ戦(5月9~12日、東京・駒沢体育館)

《順位》[1] 山梨学院大(初)、[2] 日大、[3] 日体大、[4] 拓大、[5] 国士大、[6] 中大、[7] 東農大、[8] 大東大、[9] 専大、[10] 青山学院大、[11] 東洋大、[12] 群馬大、[13] 早大、[14] 法大、[15] 明大、[16] 東海大

◇西日本学生春季リーグ戦(6月3~4日、兵庫・薬業鳴尾浜スポーツセンター)

《順位》[1] 立命館大(2季ぶり2度目)、[2] 福岡大、[3] 徳山大、[4] 近大、[5] 同志社大、[6] 南九州大、[7] 東亜大、[8] 桃山学院大

◇全国中学生選手権(6月10~11日、茨城・茨城県立スポーツセンター)

《男子優勝者》▼35kg級 安武誠(茨城・牛久南)、▼38kg級 青木強(茨城・牛久南)、▼42kg級 井堀絢介(大阪・同志社香里)、▼47kg級 大沢茂樹(茨城・牛久南)、▼53kg級 富田和秀(三重・一志)、▼59kg級 神野忠勝(千葉・木間ヶ瀬)、▼66kg級 高塚紀行(大阪・吹田一)、▼73kg級 山県養一(神奈川・衣笠)、▼85kg級 佐藤正剛(長野・芦原)

《女子優勝者》▼34kg級 谷田愛実(静岡・裾野西)、▼37kg級 国枝美香(大阪・天王)、▼40kg級 瀬下綾(福岡・広徳)、▼44kg級 前原愛(三重・亀山)、▼48kg級 鈴木七恵(栃木・雀宮)、▼52kg級 西牧未央(大阪・関大一中)、▼57kg級 鈴木博恵(京都・東宇治)、▼62kg級 中田絵理子(京都・西宇治)

◇明治乳業杯全日本選抜選手権（6月16～17日、東京・駒沢体育館）

《男子フリースタイル優勝者》▼54kg級 田村茂一（自衛隊）、▼58kg級 石嶋勇次（総合警備保障）、▼63kg級 山本英典（自衛隊）、▼69kg級 織山昭人（秋田市役所）、▼76kg級 太田拓弥（和歌山県教育庁）、▼85kg級 横山武典（国士舘大助）、▼97kg級 小平清貴（山梨学院大）、▼130kg級 吉田清太郎（秋田市役所）

《男子グレコローマン優勝者》▼54kg級 豊田雅俊（警視庁）、▼58kg級 西島隆（高岡総合プール）、▼63kg級 伊是名正旭（日体大）、▼69kg級 大井将憲（自衛隊）、▼76kg級 伊藤光伸（宮越工芸）、▼85kg級 松本慎吾（一宮運輸）、▼97kg級 篠崎正二（自衛隊）、▼130kg級 鈴木克彰（警視庁）

◇シドニー五輪日本代表決定プレーオフ（6月17日、東京・駒沢体育館）

《勝者》▼男子グレコローマン 58kg級 笹本睦（総合警備保障）、▼同 63kg級 元木康年（自衛隊）

◇東日本学生秋季新人戦（6月22～23日、東京・駒沢体育館）

《男子フリースタイル優勝者》▼54kg級 山本篤（山梨学院大）、▼58kg級 松永共広（日体大）、▼63kg級 谷口勝信（国士大）、▼69kg級 長島正彦（青学大）、▼76kg級 長島和幸（早大）、▼85kg級 小幡邦彦（山梨学院大）、▼97kg級 福田大樹（山梨学院大）、▼130kg級 吉田栄利（国士大）

《男子グレコローマン優勝者》▼54kg級 山本篤（山梨学院大）、▼58kg級 若山真毅（日体大）、▼63kg級 柳川育広（日体大）、▼69kg級 高橋竜太（拓大）、▼76kg級 佐野裕樹（日体大）、▼85kg級 平沢昌大（早大）、▼97kg級 福田大樹（山梨学院大）、▼130kg級 荻田貴士（日体大）

◇西日本学生選手権（7月7～9日、大阪・堺市金岡公園体育館）

《男子フリースタイル優勝者》▼54kg級 渡辺義正（立命館大）、▼58kg級 水野康平（福岡大）、▼63kg級 森岡寛至（同大）、▼69kg級 西岡光人（桃山学院大）、▼76kg級 池辺尚宏（福岡大）、▼85kg級 仙波勝敏（立命館大）、▼97kg級 姫路文博（大体大）、▼130kg級 西山知孝（福岡大）

《男子グレコローマン優勝者》▼54kg級 松本良（徳山大）、▼58kg級 本田一樹（桃山学院大）、▼63kg級 田所義章（徳山大）、▼69kg級 池畑喜実成（東亜大）、▼76kg級 池辺尚宏（福岡大）、▼85kg級 仙波勝敏（立命館大）、▼97kg級 丸山真太郎（福岡大）、▼130kg級 西山知孝（福岡大）

◇全日本社会人選手権（7月15～16日、東京・駒沢体育館）

《団体戦優勝チーム》▼実業団 宮越工芸、▼クラブ 秋田市役所

《男子フリースタイル優勝者》▼54kg級 戸井田昌教（宮越工芸）、▼58kg級 関川博紀（新潟・三条工高教）、▼63kg級 井上謙二（自衛隊）、▼69kg級 栗尾直樹（東北電子工高ク）、▼76kg級 小柴健二（自衛隊）、▼85kg級 横山秀和（秋田市役所）、▼97kg級 花田眞秀（和歌山ク）、▼130kg級 吉田清太郎（秋田市役所）

《男子グレコローマン優勝者》▼54kg級 安原隆（自衛隊）、▼58kg級 吉田誠治（特別警備保障）、▼63kg級 平井満生（総合警備保障）、▼69kg級 久保雅紀（宮越工芸）、▼76kg級 伊藤光伸（宮越工芸）、▼85kg級 谷口周平（自衛隊）、▼97kg級 太田浩史（青学大職）、▼130kg級 鈴木克彰（警視庁）

《女子優勝者》▼46kg級 吉村祥子（TBC東京ビューティセンター）、▼51kg級 清水美里（代々木ク）、▼56kg級 中谷美沙（中京女大ク）、▼62kg級 鈴木亜里（ジャパンビバレッジ）、▼68kg級=出場なし、▼75kg級=出場なし

◇インターハイ（8月3～6日、岐阜・岐阜アリーナ）

《学校対抗戦》[1] 茨城・霞ヶ浦（11年連続14度目）、[2] 岐阜・岐南工、[3] 岐阜・岐阜工、秋田・秋田経法大付

《個人戦優勝者》▼50kg級 和田宗法（千葉・関宿）、▼54kg級 齊藤将士（秋田・秋田経法大付）、▼58kg級 橋井巧佑（京都・立命館宇治）、▼63kg級 鈴木崇之（京都・立命館宇治）、▼69kg級 中筋祐太（大阪・吹田）、▼76kg級 松本真也（京都・網野）、▼85kg級 藤岡裕士（茨城・霞ヶ浦）、▼130kg級 田中章仁（福岡・三井）

◇全国高校生グレコローマン選手権（8月17～19日、広島・広島県立総合体育館）

《優勝者》▼50kg級 月成良太（福岡・三井）、▼54kg級 齊藤将士（秋田・秋田経法大付）、▼58kg級 庄司優亮（山形・山形商）、▼63kg級 鈴木崇之（京都・立命館大）、▼69kg級 中筋祐太（大阪・吹田）、▼76kg級 石沢幸佑（新潟・北越）、▼85kg級 藤岡裕志（茨城・霞ヶ浦）、▼97kg級 田中章仁（福岡・三井）、▼120kg級 新庄寛和（京都・南京都）

◇全日本女子学生選手権（8月20日、岩手・宮古市総合体育館）

《優勝者》▼46kg級 織田智絵（東洋大）、▼51kg級 伊調千春（東洋大）、▼56kg級

山本英代(中京女大)、▼62kg級 岩間怜那(中京女大)、▼68kg級 坂本襟(中京女大)、▼75kg級 富岡多恵子(国士大)

◇全国高校女子選手権(8月20日、岩手・宮古市総合体育館)

《優勝者》▼43kg級 竹中奈々(京都・網野)、▼46kg級 野口美香(鹿児島・鹿屋中央)、▼50kg級 平岡深雪(埼玉・埼玉栄)、▼54kg級 服部担子(愛知・中京女大附)、▼58kg級 吉田沙保里(三重・久居)、▼63kg級 伊調馨(愛知・中京女大附)、▼68kg級 寺本梓美(愛知・中京女大附)、▼75kg級 村島文子(三重・尾鷲)

◇全国中学女子選手権(8月20日、岩手・宮古市総合体育館)

《優勝者》▼38kg級 野崎美緒(青森・三本木)、▼40kg級=出場なし、▼43kg級 前原愛(三重・亀山)、▼46kg級 坂本真喜子(青森・白銀)、▼49kg級 鈴木七恵(栃木・雀宮)、▼52kg級 西牧未央(大阪・関大一)、▼56kg級 藤本紗貴(大阪・吹田五)、▼60kg級 宇野祥弥(三重・富洲原)、▼65kg級=出場なし、▼70kg級 杉本亜弓(愛知・丹陽)

◇全日本学生選手権(8月24~27日、福岡・アクション福岡)

《男子フリースタイル優勝者》▼54kg級 高橋利典(山梨学院大)、▼58kg級 松尾大士(日体大)、▼63kg級 池松和彦(日体大)、▼69kg級 笥田幸宏(国士舘大)、▼76kg級 小幡邦彦(山梨学院大)、▼85kg級 藤田尚志(山梨学院大)、▼97kg級 小平清貴(山梨学院大)、▼130kg級 矢野通(日大)

《男子グレコローマン優勝者》▼54kg級 森岡則晴(拓大)、▼58kg級 平井進悟(拓大)、▼63kg級 伊是名正旭(日体大)、▼69kg級 佐野裕樹(日体大)、▼76kg級 菅太一(日大)、▼85kg級 森角祐介(日体大)、▼97kg級 津田弘二(青山学院大)、▼130kg級 矢野通(日大)

◇全日本学生王座決定戦(9月21~22日、東京・駒沢体育館)=団体戦のFILAトーナメント方式

《順位》[1] 日体大(2年ぶり21度目)、[2] 山梨学院大、[3] 国士舘大

◇西日本学生新人戦(9月30~10月1日、大阪・堺市金岡公園体育館)

《男子フリースタイル優勝者》▼54kg級 奥本芳久(桃山学院大)、▼58kg級 森山振一郎(福岡大)、▼63kg級 名倉陽介(近大)、▼69kg級 田中弘済(同志社大)、▼76kg級 池辺尚宏(福岡大)、▼85kg級 小山裕之(同志社大)、▼97kg級 裾分隆仁(南九州大)、▼130kg級 平田善久(徳山大)

《男子グレコローマン優勝者》▼54kg級 奥本芳久（桃山学院大）、▼58kg級 谷岡泰幸（徳山大）、▼63kg級 藤本陽介（徳山大）、▼69kg級 田中弘済（同志社大）、▼76kg級 池辺尚宏（福岡大）、▼85kg級 的場由洋（南九州大）、▼97kg級 裾分隆仁（南九州大）、▼130kg級 平田善久（徳山大）

◇国民体育大会（10月15～18日、富山・黒部市YKK体育館）

《成年フリースタイル優勝者》▼54kg級 戸井田昌教（富山・宮越工芸）、▼58kg級 関川博紀（新潟・三条工高教）、▼63kg級 栗尾直樹（宮城・県体協）、▼69kg級 和田貴広（和歌山・県教育庁）、▼76kg級 太田拓弥（和歌山・県教育庁）、▼85kg級 横山秀和（秋田・秋田市役所）、▼97kg級 川合達夫（群馬・板倉高教）、▼130kg級 篠崎正二（埼玉・自衛隊）

《成年グレコローマン優勝者》▼54kg級 豊田雅俊（東京・警視庁）、▼58kg級 西島隆（富山・高岡総合プール）、▼63kg級 平井満生（山梨・総合警備保障）、▼69kg級 斉藤柔（埼玉・自衛隊）、▼76kg級 加納篤（岐阜・加納建築）、▼85kg級 松本慎吾（愛媛・一宮グループ）、▼97kg級 吉田幸司（福島・須賀川高教）、▼130kg級 鈴木克彰（東京・警視庁）

《少年フリースタイル優勝者》▼50kg級 和田宗法（千葉・関宿）、▼54kg級 江上剛（茨城・霞ヶ浦）、▼58kg級 橋井巧佑（京都・立命館宇治）、▼63kg級 鈴木崇之（京都・立命館宇治）、▼69kg級 中筋祐太（大阪・吹田）、▼76kg級 松本真也（京都・網野）、▼85kg級 森山政秀（愛媛・北条）、▼97kg級 田中章仁（福岡・三井）、▼130kg級 新庄寛和（京都・南京都）

《少年グレコローマン優勝者》▼50kg級 竹中伸太（大阪・大阪市立）、▼54kg級 織田康博（京都・網野）、▼58kg級 中村拓治（熊本・玉名工）、▼63kg級 船場建徳（鹿児島・鹿屋中央）、▼69kg級 神野伸二（愛媛・北条）、▼76kg級 石沢幸佑（新潟・北越）、▼85kg級 鳥羽信介（山梨・峡北）、▼97kg級 前島信彦（長野・上田西）、▼130kg級 中都雅志（香川・多度津工）

◇全日本大学選手権（11月18～19日、宮城・夢メッセみやぎ）

《優勝者》▼54kg級 高橋利典（山梨学院大）、▼58kg級 松尾大士（日体大）、▼63kg級 金淵清文（国士舘大）、▼69kg級 篁田幸宏（国士舘大）、▼76kg級 小幡邦彦（山梨学院大）、▼85kg級 税田拓也（拓大）、▼97kg級 小平清貴（山梨学院大）、▼130kg級 矢野通（日大）

《大学対抗得点》[1] 国士舘大（5年ぶり5度目）、[2] 山梨学院大、[3] 日体大

◇全国社会人オープン選手権（11月18～19日、神奈川・逗子市立体育館）

《男子フリースタイル》▼54kg級 井上英（自衛隊）、▼58kg級 戸井田昌教（宮越工芸）、▼63kg級 山縣健司（倉敷クラブ）、▼69kg級 山本英典（自衛隊）、▼76kg級 外屋敷剛（川内自衛隊）、▼85kg級 中尾昭（千里山クラブ）、▼97kg級 神内伸司（倉敷クラブ）、▼130kg級 土居克也（愛媛県協会）

《男子グレコローマン》▼54kg級 井口撰（情念クラブ）、▼58kg級 木村浩二（横須賀自衛隊）、▼63kg級 富谷光雄（自衛隊）、▼69kg級 飯室雅規（自衛隊）、▼76kg級 古田直樹（自衛隊）、▼85kg級 太田宣明（自衛隊）、▼97kg級 大同泰政（自衛隊）、▼130kg級 諏訪間幸平（クリナップ）

◇全日本大学グレコローマン選手権（11月30日～12月1日、東京・駒沢体育館）

《優勝者》▼54kg級 森岡則晴（拓大）、▼58kg級 平井進悟（拓大）、▼63kg級 伊是名正旭（日体大）、▼69kg級 池田秀治（山梨学院大）、▼76kg級 菅太一（日大）、▼85kg級 税田拓也（拓大）、▼97kg級 小平清貴（山梨学院大）、▼130kg級 矢野通（日大）

《大学対抗得点》[1] 拓大（初）、[2] 山梨学院大、[3] 日体大

◇西日本学生秋季リーグ戦（12月2～3日、大阪・大阪府立体育会館第2競技場）

《順位》[1] 福岡大（4季ぶり20度目）、[2] 立命館大、[3] 徳山大、[4] 同志社大、[5] 近大、[6] 南九州大、[7] 東亜大、[8] 天理大

◇全日本選手権（12月21～23日、東京・代々木競技場第2体育館）

《男子フリースタイル優勝者》▼54kg級 田南部力（警視庁）、▼58kg級 関川博紀（新潟・三条工高教）、▼63kg級 金淵清文（国士舘大）、▼69kg級 天谷博満（茨城・土浦日大高教）、▼76kg級 小幡邦彦（山梨学院大）、▼85kg級 川合達夫（群馬・板倉高教）、▼97kg級 小平清貴（山梨学院大）、▼130kg級 今村雄介（高田道場）

《男子グレコローマン優勝者》▼54kg級 村田知也（日野ク）、▼58kg級 笹本睦（総合警備保障）、▼63kg級 飯室雅規（自衛隊）、▼69kg級 永田克彦（警視庁）、▼76kg級 菅太一（日大）、▼85kg級 松本慎吾（一宮運輸）、▼97kg級 森角裕介（日体大）、▼130kg級 鈴木克彰（警視庁）

《女子優勝者》▼46kg級 清水美里（ジャパンビバレッジ）、▼51kg級 坂本日登美（中京女大）、▼56kg級 山本聖子（日大）、▼62kg級 岩間怜那（中京女大）、▼68kg級 宮本知恵（中京女大）、▼75kg級 浜口京子（浜口ジム）

◇東日本学生新人戦（2001年2月26～27日、東京・駒沢体育館）

《男子フリースタイル優勝者》▼54kg級 足立竜一（山梨学院大）、▼58kg級 大館信也（国士大）、▼63kg級 重富和幸（日体大）、▼69kg級 高橋龍太（拓大）、▼76kg級 長島正彦（青学大）、▼85kg級 長島和幸（早大）、▼97kg級 福田雄一（早大）、▼130kg級 福田大樹（山梨学院大）

《男子グレコローマン優勝者》▼54kg級 大津卓睦（中大）、▼58kg級 菅原剛志（日体大）、▼63kg級 川岡努（日体大）、▼69kg級 臼田育男（拓大）、▼76kg級 高橋裕二郎（日体大）、▼85kg級 福田力（山梨学院大）、▼97kg級 栗原正人（日体大）、▼130kg級 福田大樹（山梨学院大）